

緊急レポート

October 15, 2013

インターリスクアジアタイランド

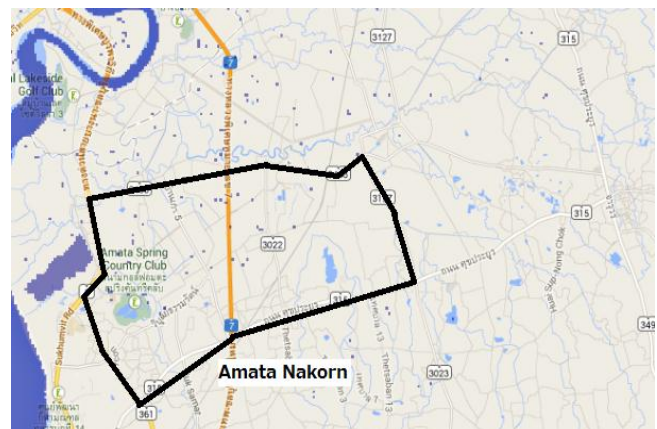
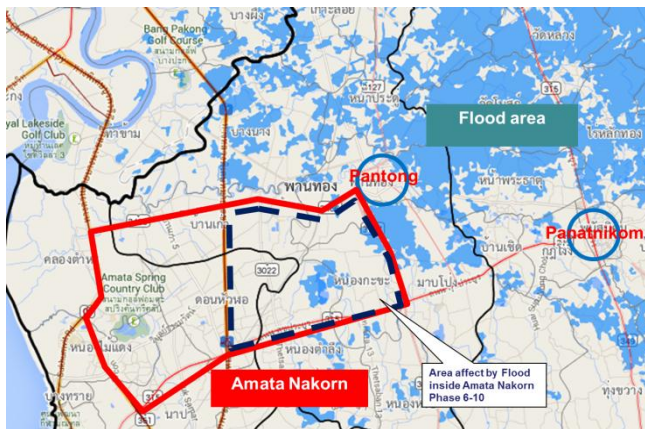
## 2013年10月15日現在のアマタナコン工業団地周辺の洪水状況

### 現状

アマタナコン工業団地の洪水状況については現地情報および様々なデータを再度確認した結果15日の朝から周囲の交通状況、工場の操業等ほとんど全てについて普段どおりに戻っているようです。アマタナコン工業団地内と周辺の浸水地域は11日時点からの比較において大幅に改善していることがわかります。

未だに周辺地域の降雨予測があるものの、当該洪水発生以前の状態に近い状況に回復したものと推察されます。この状況から、本地域におけるレポートは一旦終了とさせていただきます。

今後も、タイ国内において洪水リスクが上昇した場合には適宜情報を発信して参ります。今後ともMS&ADインシュアランスグループをお引き立ての程何卒宜しくお願い申し上げます。



上図はアマタナコン工業団地周辺の被害地域を示しています  
左の写真は10月11日で右の写真は10月14日の写真です。(GISTDA より)

### 12日から14日入手情報の

12日

この時点で交通状態はほぼ通常通りに戻っていたようです。タイ工業団地公社、アマタナコン工業団地およびチョンブリー県によって設置された排水ポンプ(11日時点では71台設置)が機能して効率的に排水が行われたことが大きな要因と考えられます。また、周辺において降雨がなかったこともあり、アマタナコン工業団地のフェーズ7~9のエリアの状況は大幅に回復していったとのこと。しかし、一部に未だ浸水箇所が残っている状況でした(特にフェーズ7の一部地域)。

13 日

上記排水ポンプのうち、50 台の位置を排水が終了していない位置に移動して、排水を行ったようです。

14 日

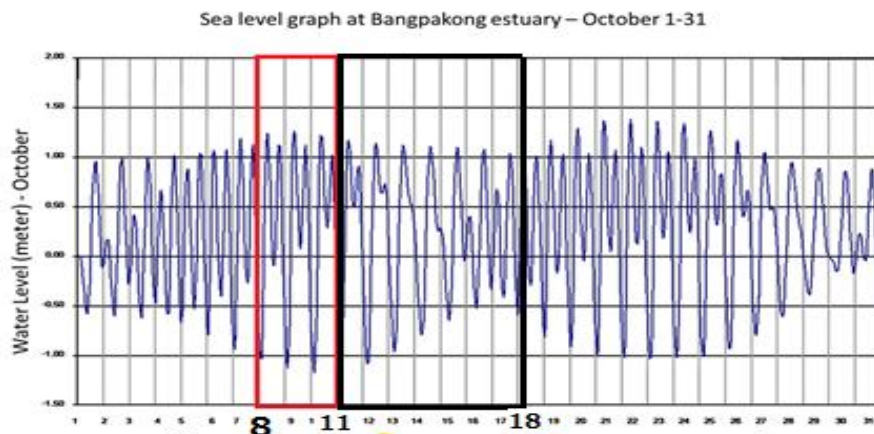
フェーズ7には一部浸水地域が残っていたので、排水ポンプをさらに8台を水軍から、また、アマタナコン工業団地から10台を増設して、排水能力を1日10万 m<sup>2</sup>に増強して排水を行ったようです。

上記の結果、15日の段階で、ほぼ元の状態に戻ったということです。

## 今後の動向

タイ気象局14日のによると、引き続き今後7日間はChonburi と Amatanakorn を含むタイ東部で30%～60%の確率で大雨が降ると予測されており、注視が必要です。

潮位上昇についてはピークを過ぎており、潮位が下がったため効率的に排水できるようになっています。



11日～18日の間、潮位が下がったため効率的に排水できるようになっています

## 出典

Firetree, 2013. Floodmap, <http://flood.firetree.net/> <accessed on October 15<sup>th</sup>, 2013>

Gistda, 2013. Flood in the past 7 days map <http://flood.gistda.or.th/> <accessed on October 15<sup>th</sup>, 2013>

タイ気象局, <http://www.tmd.go.th/><accessed on October 15<sup>th</sup>, 2013>

タイラット新聞, <http://www.thairath.co.th/><accessed on October 15<sup>th</sup>, 2013>

バンコクビジネス新聞, <http://www.bangkokbiznews.com/><accessed on October 15<sup>th</sup>, 2013>